

新型コロナ緊急支援

第3弾「移民・難民の子どもいのちを守る基金 ～セーフティネットからこぼれ落ちる子育て世帯へ～」

1. 本基金の概要

2021年2月特定非営利活動法人 Living in Peace(以下、LIP)は1月7日以降、複数の都府県で緊急事態宣言が再度発令されたことを受け、移民・難民として日本で生活する子育て世帯への緊急支援を行いました。解雇や勤務時間の短縮により親の収入が激減し、困窮する家庭が増加したことを受け、子どもたちの命をつなぐため現金給付支援を実施しました。(詳細はこちら 第1弾 http://blog.living-in-peace.org/lip_all/lipfund/mamorukikin2021.pdf、第2弾 http://blog.living-in-peace.org/lip_all/lipfund/mamorukikin2021_2.pdf をご覧ください。)

支援を通し、先が見通せず苦しむ親、状況を敏感に察し親に迷惑をかけまいと我慢する子どもたちの状況を知り、さらに支援の輪を広げるため第3弾緊急支援を実施することにしました。集まった資金を子育て世帯に給付するため、8月中に移民・難民の子育て世帯の支援団体への公募を行い、計 16団体からの申請を受付けました。第3弾を通して見えたのは、コロナ禍で帰国も出来ず、働くことも出来ず、長引く緊急事態宣言の中、第5波の只中で経済的な影響を受け支援者や同胞コミュニティも疲弊する共助や支援が望めない状況で、更なる困窮状態に陥り途方に暮れる世帯でした。公的支援制度とのつながりの脆弱さ、在留資格と制度の狭間で苦しむ方々、第5波によるコロナの影響をより一層受けた方々の苦しみ色が濃く滲み出ていました。現状を抜け出すには、一層時間がかかることが考えられます。皆様からいただいた資金による支援は今回で一旦終了となります。ご支援本当にありがとうございました！ LIPでは、今後も現金給付のみにとどまらない形で、移民・難民の子どもやその支援に携わる方々に寄り添った支援の形を考え、出来ることを続けて参ります。

2. 支援結果

■緊急支援金の支給総額	2,560,000円
■支援総世帯数	57世帯
(内ひとり親世帯数)	22世帯
■支援した子どもの総数(胎児含む)	103名

■申請代表者の国籍の内訳

フィリピン	12	トルコ	6
中国	3	イラン	1
チュニジア	1	イエメン	1
ネパール	4	ペルー	2
ミャンマー	8	バングラデシュ	1
ベトナム	2	ガーナ共和国	2
スリランカ	2	コンゴ民主共和国	5
アフガニスタン	1	カメルーン	1
ウガンダ	1	無国籍	2
ナイジェリア	2		

■申請代表者の在留資格の内訳

永住者	2
家族滞在	2
定住者	11
技術・人文知識・国際業務	5
技能	3
特定活動	8
仮放免(うち難民申請中)	22(6)
在留資格なし	2
特別在留許可申請中	1
留学	1

■都府県内訳

東京都	22
神奈川県	7
埼玉県	12
茨城県	1
千葉県	3
栃木県	1
群馬県	4
愛知県	1
大阪府	4
京都府	2

■申請書に見る移民・難民の子育て世帯の声

子どもに十分な食事を与えてあげられない。

シフトが減らされ収入が減り、削れるのは食費なので食べる量を減らしてやりくりしている。子どもにお肉やお菓子を買う回数が減った。ささやかな娯楽であった安いファミレスでの外食もできなくなった。

出産してから休業中で収入がなく、夫も残業が減り、在留資格の関係で支援につながれず、ミルク代さえも捻出するのが難しい。

受けられる公的支援は受けてきたがコロナの影響で月々の支払い、生活必需品の調達にも影響。一番困っているのは食料品。他団体による支援も受け取ったが食べ盛りの長男に満足に与えられない。

子どもに必要なものを買ってあげられない。

在留資格の関係で長らく支援に頼って生活しているがコロナ禍で成長する子どもに必要なものが増えても困窮度が深くどうにもならない。

コロナで支援者が帰国し水道光熱費の支払いも厳しい。食費や教育費(水着や運動靴等)も足りず子どもたちの教育・成長に深刻な影響。

子どもの学習、社会性の獲得など当たり前の機会・権利が制限され、不安やストレスを感じている。

知り合いからお金を援助してもらっている。こどもは進学希望だが学費が払えるかわからない。

ストレスで体を壊し無職に。子どもたちの気持ちも不安定に。コロナ入院で不安が増え、こどもにかかるストレスも増えている。

緊急事態宣言により収入はコロナ前を大きく下回り、家賃や健康保険料が払えていない。高校在学中の長女の後期の授業料を払えるめどがたっていない。

■支援対象者からヒアリングした日用品・食品ニーズ

・食品:米、生鮮食料品(野菜・果物・肉・魚)、ミルク、油、離乳食、缶詰、調味料、お菓子・おやつ、麺類、パン等

・日用品:オムツ、生理用品、衛生用品、マスク、トイレトペーパー、洗剤、消毒用アルコール等

■ 支援対象者からヒアリングしたその他ニーズ

- ・子どもの衣類、靴、学用品、おもちゃ等
- ・子どもの学費、生活費、家賃、光熱費など月々の支払い
- ・子どもの医療費
- ・在留資格なくても使える行政・託児などのサービス(の多言語対応)

■ 支援を受けとった方々からの声

・急に母国に帰国できなくなり、3人の子供と妻を1人で支えるのは難しく、食料などの生活費に困っていたのでとても助かりました。

・長男が通学している高校の授業料の一部として支払うことができました。これまで経済的な支援をしてきた方が支援できなくなり、かなり厳しい状況でした。

・まずは、子どもの粉ミルク、オムツ、食べ物を買うそうです。今月の家賃または電気代が払えると大変に喜んでおります。「家族全員うれしいです。ありがとうございます。」

・子どもの冬服がなくて困っていたので、とても助かりました。

・交通費にも困っていたので、とても助かりました。子どもの服やおむつを買いたいです。

・子どもが6人いるため、家賃や食費などの負担が大きい。電気代を滞納しているので、寄付金は電気代や食費に使う予定にしている。

・娘はテニス部の部活でがんばっていますが、今回のご支援で、部費、部活用冬着の支払い、水筒の購入もできました。感謝し、勉強も一生懸命取り組んでいます。

・交通費にも困っていたので、とても助かりました。子どもの服やおむつを買いたいです。

・Dearest Donors, Thank you very much for helping us. May the love and peace be with you. I will buy food for us, for my daughter allowance going to school and for everyday personal daily necessities.

・子どもと母親が同時に発熱したので、ふたりの受診費用と薬代、子どもの予防注射、衣服購入代金に使わせていただきました。

・新型コロナウイルスに感染してしまい、世帯の収入が減ってしまい困っていましたが、この基金のおかげで家計が助かり、そして何より、皆さんの温かいお気持ちにとっても励まされました。ありがとうございました。

家賃が払えなくて、住居確保給付金も対象にならないし、どうにもならないときだったので、家賃にあてるしかなかったです。本当に助かっています。 こうやって自分みたいに困っている人がたくさんいると思いますが、そういう苦しんでいる人に寄付してくれる心優しい人がいて、感謝しかないです。仮放免で、働けないし、法的支援もない自分たち家族を、振り向いてくれたり、手を差し伸べてくれる人がいるということに、感謝の気持ちしかないです。いつか自分も在留資格がもらえたらお返しをしたいです。